

‘Good surprise’これが正式な英語として通用するかどうか、それはちょっとさておき、今、結構心に留めている言葉の一つである。意味は要するに、驚き、それも良い驚き、うれしい驚きということである。

例えば、あまり期待してなかったお店の料理が、想像を超えてとてもおいしかった場合、それはひとつの‘Good surprise’。あるいは、休日に一足早く起きて、

家族のためにコーヒーを入れる。すると、家族は、なにかいい香りの中で目覚め、そしてそれがモーニングコーヒーと知り、‘Good surprise’。また、もう逢えないと半ばあきらめていた人に突然出会って‘Good surprise’。

ちなみに、英語の辞書を調べると、‘surprise’には「驚き、びっくり」という以外にも「思いがけない贈り物」というのもあり、ことばの中にいい意味での意外性（による驚き）が含まれ

ているようだ。誰しも思いがけない贈り物はうれしいものであり、うれしい驚きは、その瞬間、幸せな気持ちが何倍にもふくらむような気がする。

私は、建物もまさにこの‘Good surprise’が大切だと思う。「これくらいのをこんな感じで建ててください。」と依頼される。するとその依頼以上に‘Good surprise’な建物を提供したいと思うのだ。「この敷地にここまでのものが建つとは」とか「こんな風景が見えるよ

うになるとは」など、思っていた以上のことで驚きを感じてもらえたらと思う。もちそんなその前提として、基本的なところは満足してもらっていることが必要であるが。

以前設計を手がけたS邸では、騒音や視線から生活を守るために道路に対して閉じたデザインを要望され、それを基本に設計を進めた。ただ、そのことによって、室内が暗くなっ

たり、通風が悪くなったりでは住宅としては問題である。

そこで、各所に中庭的なスペースやトップライト、ガラスブロック床を取り入れ、またリビングでは天井の高さを4mとし、部屋の角に床から天井までのスリット状の窓を設けた。これらにより、外観からは想像もできないほど、明るくそして風通しのよい住宅ができあがった。

また、敷地の傾斜と建物の基礎を利用し、効率的で広い地下収納を作った。これらは、設計の際にも施主の方に説

明したが、実際に出来上がってみると、想像超えたものだったようで、非常に驚かれ、そして大変に喜ばれた。もちろんこのことは、同時に私にとっても大きな喜びとなった。

様々な出会いの中で、その人に‘Good surprise’を感じてもらえるよう、そしてその人の喜びが自分の喜びにもなることが本当に幸せなことだと思う。

